

静岡市公立小中学校事務職員会（以下、本会とします）の会長を務めることになりました静岡市立清水興津中学校の望月和子です。

本会は、旧静岡市と旧清水市が合併した平成 15 年 4 月に発足し、旧蒲原町・旧由比町の編入を経て現在にいたっております。

合併初年度の平成 16 年 2 月、第 35 回東海地区公立小中学校事務研究大会浜松大会の分科会において、500 名を超える大勢の前で「21 世紀に生きる学校事務職員像」を提案したことが自身の中でよみがえってきます。当時静岡県で策定した静岡県教育計画『人づくり』2010 プラン」の未来をひらく『意味ある人』になぞらえて、学校における『意味ある人』としての学校事務職員像を探り、「児童生徒を行政の立場から育てる」学校スタッフでありたいと訴えました。そして、新たに誕生した「静岡市」の未来に思いを寄せました。

あれから 18 年。先輩から後輩へバトンが繋がれ、私たちはあの頃の未来である今を生きています。

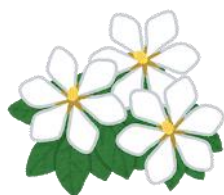
令和 3 年度、本会では活動の中心を「研究」におき、「子どもに豊かな育ちを実現すること」をミッションとして組織で取り組みを続けてまいります。新しい学習指導要領では、情報化・グローバル化・人工知能の飛躍的進化など急激に変化する予測困難な時代にあっても、未来の創り手となるための資質・能力を重視しています。「研究」とはまさに未来を予測し、今ある知識や情報を関連づけ、さらに対話や協議を通じて考えを広げ深め、より良い方策を見いだしていく・改善していく・切り拓いていくことだと思います。学校事務職員の専門性と役割を追求しながら、今年度は「財務マネジメント」に重点をおきます。

G I G A スクール、静岡型小中一貫教育、共同学校事務室等、学校の在り方が大きな節目を迎えています。本会としても、この時代の変化や要請を敏感に捉え、主体的に対応していきたいと考えます。

コロナ禍で不安定な部分がありますが、新しい生活様式が定着し、子どもたちはこの環境に順応してはつらつと活動しています。めまぐるしい変化の中でも、変わらない大切な部分と、自分たちが意識して変えていかなくてはならない部分をしっかりと見極め、子どもたちの幸せに大いに関わっていきたいと思います。

一人の 100 歩より、100 人の一歩 静岡市の会員全員で歩みを進めましょう。

1 年間、どうぞよろしく願いいたします。



令和 3 年 5 月吉日
静岡市公立小中学校事務職員会 会長 望月和子